

令和2年度 第2回 ※前回
(R2.8.6開催)令和2年度 第3回 ※今回
(R2.9.17開催)

アプローチした視点

委員からの主な意見

視点① 「知る・知らせる」

- ◆ 中小企業・小規模企業の実情を「知る」
- ◆ 市や中小企業等の取組を「知らせる」

- 広く意見を聞くこと、会話することが大切。
- 「知らせる」ことが苦手な企業には、こちらから入り込んで声を聴く支援が必要。
- 企業によっては「知らせる」方法を工夫していかないと課題解決につながらない。
- 「知る」⇒「学ぶ」⇒「行動を変える」⇒「内外に知らせる」のサイクルを回していく必要がある。

視点② 「新たに取り組む」

- ◆ リモートワーク、副業・兼業等に「新たに取り組む」

- コロナ前までは「できなかったこと」が、今は「やらなければならないこと」に変わってきているため、今が新たに取り組むチャンス。
- これまで汲み取れなかった声を改めて汲み取る機会にしてほしい。
- 東京で働く人の環境が変化してきており、副業等で静岡に来る人が増えることで人材が増え、「しずおか愛を育む人」を育てるハードルが下がってきている。
- BCP（特に感染症対策）は planning(プランニング)ではなく、doing(ドゥーイング)の段階の段階にきているため、具体的に実行していかなければならない。

視点③ 「学ぶ」

- ◆ 学生等が地元中小企業等について「学ぶ」
- ◆ 社会人が仕事上のスキル向上等のために「学ぶ」

- 企業説明会等のオンライン化によって、ITリテラシーの獲得が求められてくる。
- セミナー等のオンライン化により、これまで呼ぶことができなかった講師を呼ぶことが出来たり、遠方の方との交流が容易になったり、時間や距離を気にする必要がなくなったため、社員が参加しやすくなっている。
- 情報セキュリティを正しく理解することで、データの流出や先入観によるIT化の停滞等を防ぐことができる。

目的、検討内容等

【目的】

前回会議で挙げられた意見を基に、「コロナによるピンチをチャンスに変えていく」ための意見提案を行う。

【検討内容】

- ① ウィズ・コロナまたはポスト・コロナにおける中小企業振興にかかる課題の解決方法等について
※ 前回会議で挙げられた「ウィズ・コロナまたはポスト・コロナにおける中小企業振興にかかる課題」（左記参照）に対して、どのような解決方法があるのか、検討を行う。
- ② 「①」で挙げられた解決方法等を中小企業が実行するために必要な支援について
※ ①で挙げられた解決方法を中小企業が実行しようとしたときに、それを後押しするための支援はどのようなものが必要か、検討を行う。

【検討方法】

前回会議と同様に「①知る・知らせる」「②新たに取り組む」「③学ぶ」の各グループに分かれて討論を行う。
※ 基本的に前回と同じグループに分かれて討論を行う。

取りまとめた意見を「応援会議からの意見提案」として静岡市に提出。

◎静岡市中小企業・小規模企業応援会議における提案意見検討の際の根本的なテーマ（土台）：「しずおか愛」（しずおかを愛する心）

しずおか愛とは…

- しずおかの企業をより知りたい
- しずおかのことをよく知って欲しい（魅力を伝えたい）
- 生まれ故郷のしずおかで働きたい、副業したい
- しずおかで働きつづけたい

「しずおか愛」の種をまいて育て、その心を中小企業振興につなげる